

やはり余裕は大切です！

下校後に、一部の生徒が迎えの車の到着をラーニングコンズで待っています。生徒の下校後に迎えに来ていただくのは、万が一の事故を防止するためです。学校の時間指定にご協力くださるお陰で、生徒たちはこれまで安全に下校しています。

迎えを待つ生徒たちにとっては、少しでも早く下校したいところでしょうが、やはりそこには、待ち時間ができてしまっています。読書したりおしゃべりしたりして待っている生徒がほとんどでしたが、最近はその時間に、生徒玄関を掃除する生徒の姿が見られるようになりました。

掃除は週三日ですし、最近では昼休みにバレーボールの練習に足を運ぶ生徒が多いため、多くの砂が生徒玄関に運ばれてきます。掃除がない火曜日と木曜日には、土間だけではなく、フロアにも砂が上がってくることがあります。、迎えを待つ生徒たちは、そんな状況を改善しようと、進んで掃除に取り組み始めたのです。

確か昨年度も、生徒たちのこういう姿がありました。ただし、それは朝でした。早めに登校した生徒たちが、進んで生徒玄関を掃除していました。しかし、今年度は、コロナの影響で、玄関前で健康チェックが行われています。密を避けるために、登校した生徒から教室に入ることになっていました。したがって、昨年度のようにやろうと思っててもできない状態になっていきます。

しかし、北中の生徒は、時を移して主体性を発揮しています。朝にできないのであれば下校時に！今年度は特別な状況下だとうことで、昨年度のような姿は見られないのかと正直言ってあきらめていましたが、思わぬところで生徒の主体性をみつけることができました。とてもうれしいことでした。

やはり、こうした生徒の主体的な姿は、時間的な余裕があるときに生み出されるとわかります。分刻みでやることが細分化されている時には、やるべきことをこなすだけで精一杯。新しいものを生み出す余裕は生まれません。

迎えを待つまでの短い時間ですが、何にも縛られずに自己決定できる余裕が、そこにはあります。自分のために読書するのもよし、質問をするのもよし、おしゃべりするのもよし。はたまた、みんなのために掃除するのもよし。やはり余裕は大切ですね。

(九月九日 記)

